

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																			
麻生建築&デザイン専門学校		平成9年11月26日		竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-11-13 (電話) 092-415-2292																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																			
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日		麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町 3-83 (電話) 0948-25-5999																			
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																		
工業	工業専門課程	ものづくり科				平成25年文部科学省 告示第3号	—																		
学科の目的	日用品、家電、自動車などの製品に関する材料、造形、色彩の知識を習得し、機能的で実用性のあるデザインの計画、構想から具現化までの工程を学習する。また、3次元CAD利用技術者試験の取得を目指しながらハイエンドの3次元CADを体得することによりデジタルエンジニアの分野で活躍できる専門技術者を育成することを目的とする。																								
認定年月日	平成26年3月31日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
2年	昼間	1710	525	1290	-	-	-																		
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
80人 (在籍は2年生のみ)		16人	2人	1人	7人	8人																			
学期制度	■前期: 4月1日～8月31日 ■後期: 9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 5段階評価、3分の2以上の出席が必要																				
長期休み	■夏季: 8月10日～9月6日 ■冬季: 12月21日～1月5日 ■春季: 2月10日～4月5日			卒業・進級条件	単位を取得していること 卒業基準検定を取得している 学年の出席率が90%以上 学生としてふさわしい生活態度																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 各種検定対策補講、数学ゼミ(希望者)			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動																				
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 自動車メーカー、家具メーカー			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																				
	■就職指導内容 面接指導、履歴書指導、求人票説明・指導				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元CAD利用技術者</td> <td>③</td> <td>25人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>カラーデザイン検定</td> <td>③</td> <td>17人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>イラストレータ能力認定試験</td> <td>③</td> <td>17人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	3次元CAD利用技術者	③	25人	7人	カラーデザイン検定	③	17人	9人	イラストレータ能力認定試験	③	17人	4人
	資格・検定名	種別	受験者数		合格者数																				
	3次元CAD利用技術者	③	25人		7人																				
カラーデザイン検定	③	17人	9人																						
イラストレータ能力認定試験	③	17人	4人																						
■卒業者数: 8人 ■就職希望者数: 7人 ■就職者数: 7人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 87.5%			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																						
■その他 ・活動中: 1人			■自由記述欄 御供所灯明コンペティション(毎年参加、入賞有) 本年(第11回)は優秀賞(1名)獲得																						
中途退学の現状	■中途退学者: 1名 令和元年5月1日時点において、在学者25名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者24名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更			■中退率: 4%																					
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・東日本大震災により被災し進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を全額免除する。(卒業まで) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 前年度の給付実績者数: 1名																								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																								
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.asojuku.ac.jp/act/subject/product/">http://www.asojuku.ac.jp/act/subject/product/</a>																								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

また、広く建築業界の動向や求められる知識レベルを把握するためお客様アンケートを実施し、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容やカリキュラムに反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として設置する。委員会では、次の事項を審議し、会議の結果をカリキュラム会議に報告するものとする。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

主任等により主催されるカリキュラム会議では、教育課程編成委員会からの意見を参考に、学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
板橋 正志	株式会社 ダイキエンジニアリング 取締役 人事本部長	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	③
松田 淳司	ゼネラルアサヒ コミュニケーションデザイン本部 デザイン企画部 部長	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	③
植田 義孝	ユーデザイン設計 代表	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	③
合瀬 理栄	国際カラーデザイン協会	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	①
井上 勝義	クリエイティブ・ルーム ERNEST 代表	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	②
原 将史	麻生建築&デザイン専門学校 主任	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
稲吉 貴博	麻生建築&デザイン専門学校 副主任	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
高山 裕明	麻生建築&デザイン専門学校 教員	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
松本 剛太	麻生建築&デザイン専門学校 教員	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
八尋 誠	麻生建築&デザイン専門学校 教員	令和2年年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期) 年2回、開催時期は7月、11月

(開催日時(実績))

令和元年度 第1回 令和元年 6月13日 14:00～16:30

令和元年度 第2回 令和元年 11月22日 15:00～17:00

令和2年度 第1回 令和2年 7月31日 15:00～18:00

令和2年度 第2回 令和2年 12月4日 予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

言われたことをするだけの新入社員も増えており、『なぜ』を求める人材が減っている現状があり、デザイン案を『考える』授業の増加を求められた。また、カリキュラム内で以前のようにデザイン案を考えて取り組ませる授業の減少を指摘されたことから、卒業制作やPD実習などで『考える』授業『なぜ』を求める授業としてデザイン案から企画設計と計画を詳細に立てさせることとした。

また、現場では、平面図の機械も多く平面図の理解が課題であり、平面図から3次元モデリングできる学生はいるが、人が作成した平面図の理解が必要との意見を頂いた。この意見を受けて、図学及び機械製図内で前後期にわたり図面の学習を実施することとした。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

### (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等からのヒアリング及びお客様アンケートの情報に基づき、将来技術者(プロダクトデザイナー)として活躍するために、学んだ知識やCAD等の技術、コミュニケーション能力等の実務適応能力の確認を行うことを目的として企業等との連携授業を実施する。

3次元CADを用いた機械設計、工学知識及び表現技法、プロダクトデザイン演習など実務レベルの技術を身につけ、デジタルエンジニア、設計開発エンジニア、プロダクトデザイナーとしていずれにも対応できる学生のスキル向上を目指す。

### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

企業実務担当者による実務案件を参考にし、活用頻度の多いデザイン制作を想定した発案から企画・造形が行えるよう授業課題を選定していただく。

課題への取り組みの現実味の向上を目標とし、学生に「学校の課題」という前提ではなく、「仕事としての約束」として取り組む姿勢を特に意識させる。評価は、事前に設定した評価基準に基づき、連携企業の講師がその完成度を評価する。

### (3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
プロダクトデザイン 実習Ⅱ A・B	プロダクトデザインの基本的概念を理解する。プロダクトデザインのプロセスを理解し、課題を通じて一通りのプロセスを体験する。	ユーデザイン設計

## 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「教職員研修規程」に基づき計画的に教員を研修に参加させる。研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

### (2) 研修等の実績

#### ① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修名 「3DEXPERIENCEを用いたCATIA Systems説明及び研修」(企業連携:プログレステクノロジー株式会社)  
期間:令和元年12月17日 対象:専任教員(1名)  
内容:3DEXPERIENCEを用いたCATIA Systems説明及び研修について  
CATIA Systemsを用いた東京大学事例を説明及び使用Appsなどについて説明研修を受けた。

#### ② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・研修名 「コーチング実践」(連携企業等:組織デザイン・ラボ)  
期間:令和2年2月19日 対象:専任教員(1名)  
内容:学生のやる気を引き出し、自発的な行動を起こさせる、学生支援スキルを高める。  
学校における学生・保護者との対応事例を使い、コーチング手法を学ぶ。

### (3) 研修等の計画

#### ① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修名:自動車業界におけるDXの加速 3DEXPERIENCEオンラインセミナー(連携企業:株式会社アルゴグラフィックス)  
期間:令和2年8月20日 対象:専任教員(1名)  
内容:デジタルトランスフォーメーション実現のための3DEXPERIENCEの必要性の提唱をはじめ、次世代を見据えた自動車サプライヤーの3DEXPERIENCE事例、ENOVIA、CATIA、SIMULIAの最新情報について

#### ② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・研修名「コーチング実践 ～多欠学生対応編～」(連携企業等:組織デザイン・ラボ)  
期間:令和3年2月3日 対象(参加者):専任教員1名(予定)  
内容:質問のスキルを学生指導に活用、ケーススタディ、グループワーク

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換を通じて、自己評価の結果を評価しHP等を通して公表する。  
また、学校関係者評価委員会は、本校の関係者として、保護者・卒業生・地域住民・企業関係者・高等学校関係者・教育に関する有識者で構成する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規定、業務効率化、他
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5) 学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6) 教育環境	教育施設・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規定の整備・運用、自己点検・評価、他
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生ボランティア活動の推進、他
(11) 国際交流	留学生の受入れ、支援体制

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

今後の第4次産業革命及び5Gの普及により、3次元CAD技術のみではなく、その他の技術も必要となる。教育機関として最先端の教育をすることを考えると3次元CADでモデリング後のアウトプット技術が必要と考えられるとの意見をいただいた。  
そのため、授業では3次元プリンターによるアウトプット技術の習得のため、CAM授業の充実や卒業制作および3DCAD授業においても導入することとした。これにより、モデリングデータの簡易モックアップの作成を通して公差の学習になるなど成果を上げている。  
今後については新たなアウトプット技術として、VRIによる評価技術の習得も検討していく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
高木 秀樹	株式会社 住まいえ 代表取締役	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業関係者
中野 貴嗣	株式会社 九州三田技術コンサルタンツ 設計関連センター センター長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業関係者
高崎 強	株式会社 久米設計 九州支社 支社長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業関係者
和田 義一	株式会社 大設計 代表取締役	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業関係者
及川 雅史	株式会社 テクノプロ・コンストラクション 労政課長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業関係者
松田 淳司	ゼネラルアサヒ コミュニケーションデザイン本部 デザイン企画部 部長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業関係者
板橋 正志	株式会社 ダイキエンジニアリング 取締役 人事本部長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業関係者
市川 仁士	福岡県立 福岡工業高等学校 校長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	高等学校関係者
井上 勝義	クリエイティブ・ルーム ERNEST 代表	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	有識者
植田 義孝	ユーデザイン設計 代表	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	有識者
太田 昌宏	愛知産業大学 教授	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	有識者
川藤 勝治	博多区博多駅南第4区自治会 自治会長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	地域住民

大塚 剛幸	建築工学科 在校生 保護者	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	保護者
和田 飛雄馬	平成31年度 建築工学科 卒業生	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: <https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aadc/2019/hyoka.pdf>

公表時期: 令和元年7月22日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等との連携及び協力により、実践的な職業教育の質の向上を推進するため、教育活動及び学校運営の状況について情報を提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	教育理念、歴史、教育目標、ASOの考え方
(2)各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、国家資格・検定、就職情報
(3)教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学園祭・部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート、学生寮、就職サポート、留学生サポート
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援(各種支援制度)
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、終始計算書、財産目録、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生入学案内、留学生募集分野、グローバル教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(学生便覧))

URL: <https://asojuku.ac.jp> 、 <http://www.asojuku.ac.jp/act/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 ものづくり科) 平成31年度入学生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			CAD	2次元CADの基本的概念を理解すると共に、2次元CAD (AutoCAD) の基本操作を習得し、建築製図の作図技術を習得する。CAD利用技術者試験2級合格を目指す。	1前	90	6		○		○			○	
○			3DCAD検定対策 A	3DCADを扱う上で必要な基礎知識や周辺機器知識概念の習得を目的としている。また、3次元CAD利用技術者試験2級合格を目指す。	1前	30	2	○			○				○
		○	3DCAD検定対策 B	3DCADを扱う上で必要な基礎知識や周辺機器知識概念の習得を目的としている。また、3次元CAD利用技術者試験2級及び準1級 (任意) の合格を目指す。	1後	30	2		○		○				○
○			ビジネスマナー A	ビジネスに必要な基本的な知識の習得を目指す。(立ち居振る舞い・敬語・ビジネス文書)	1前	30	2	○			○			○	
○			ビジネスマナー B	ビジネスに必要な基本的な知識の習得を目指す。(交際業務・来客対応・電話対応)	1後	30	2	○			○			○	
○			3DCAD I A	3次元CADソフトウェアの基礎知識及び操作方法の習得を目的とする。	1後	60	4		○		○				○
○			3DCAD I B	3次元CADソフトウェアの基礎知識及び操作方法の習得を目的とする。	1後	30	2		○		○				○
○			就職実務 I A	就職活動においての実践的能力を身につける。就職活動のスタートにあたり、準備を行い、早目の活動開始を促す。	1前	30	2	○			○			○	
○			就職実務 I B	就職活動においての実践的能力を身につける。就職活動のスタートにあたり、準備を行い、早目の活動開始を促す。	1後	15	1	○			○			○	
○			Photoshop/ Illustrator I A	Illustratorの基本操作を習得。作品パネルの制作や、就職面接用のポートフォリオ制作に活用できるようになる。Illustratorクリエイター能力認定試験のスタンダード合格レベルのスキルを身につける。	1前	30	2		○		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Photoshop/Illustrator I B	Photoshopの基本操作を習得。作品パネルの制作や、就職面接用のポートフォリオ制作に活用できるようになる。Photoshopクリエイター能力認定試験のスタンダード合格レベルのスキルを身につける。	1後	30	2		○		○		○		
○			色彩学	色彩の基本的知識の習得と、配色知識および、色彩検定3級取得を目標とする。	1前	30	2	○			○			○	
○			プロダクトデザイン実習 I A	プロダクトデザインの基本的概念を理解するプロダクトデザインのプロセスを理解し、課題を通じて一通りのプロセスを体験する。	1前	60	4		○		○			○	
○			プロダクトデザイン実習 I B	プロダクトデザインの基本的概念を理解するプロダクトデザインのプロセスを理解し、課題を通じて一通りのプロセスを体験する。	1後	60	4		○		○			○	
○			造形A	透視スケッチ技法及によりイメージの具現化ができる。基本的な立体形状を正確に造形する技術を身に付ける。	1前	60	4		○		○			○	
○			造形B	透視スケッチ技法及によりイメージの具現化ができる。基本的な立体形状を正確に造形する技術を身に付ける。	1後	60	4		○		○			○	
		○	デザイン概論	デザインという概念、デザイン関連職の種類と内容、デザインが社会にもたらす価値、デザイナーに必要な能力と知識等を学ぶ。	1後	15	1	○			○			○	
○			機械製図	製図総則（JIS Z 8310-1984）及び機械製図の諸規格について十分理解する。	1後	30	2	○			○			○	
○			図学	建築におけるパースの役割を理解し、図法を学習し表現する。	1前	30	2	○			○			○	
○			C A T I A I A	企業との提携により作成しているCATIA技術者育成カリキュラムに沿ったCATIAの操作について基礎から学習する。	1前	60	4		○		○			○	
○			C A T I A I B	企業との提携により作成しているCATIA技術者育成カリキュラムに沿ったCATIAの操作について基礎から学習する。	1前	60	4		○		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			G C B I	グローバルシティズンの育成をめざし、感謝心と思いやりをもった人材を養成する。	1前	15	1	○			○		○		
○			G C B II	グローバルシティズンの育成をめざし、ビジョンと志をもった人材を養成する。	1後	15	1	○			○		○		
		○	数学ゼミ A (選択)	専門教科に必要とする力学を理解できるように四則演算及び分数計算・小数の計算を振り返りを行う。	1前	15	1	○			○			○	
		○	数学ゼミ B (選択)	専門教科に必要とする力学を理解できるようにSI単位の理解を行い、単位の計算ができるよう学習する。	1後	15	1	○			○			○	
○			機械設計 A	機械設計及び機械製図の基礎的な知識を身につける。	2前	30	2	○			○		○		
○			機械設計 B	機械設計及び機械製図の基礎的な知識を身につけ機械製図が自ら描けるよう学習する。	2後	30	2	○			○		○		
○			就職実務 II A	就職活動のスタートにあたり、準備を行い、早目の活動開始を促す。社会人としての意識マナーをしっかりと身につける。	2前	30	2	○			○		○		
○			就職実務 II B	就職活動のスタートにあたり、準備を行い、早目の活動開始を促す。社会人としての意識マナーをしっかりと身につける。	2後	15	1	○			○		○		
○			プロダクトデザイン実習 II A	プロダクトデザインの一貫した過程を一つの作品にまとめる。卒業制作と連携し、個人別の課題に取り組む。	2前	90	6		○		○			○	○
○			プロダクトデザイン実習 II B	プロダクトデザインのプロセスを理解し、課題を通じて一通りのプロセスを体験する。プロダクトデザイナーに必要な技術、人間性を身につける。(納期、期限)	2後	90	6		○		○			○	○
○			3DCAD II A	3次元CADソフトウェアの応用操作を学ぶ。主にサーフェスモデリングの方法、トップダウン設計手法について学習する。	2前	60	4		○		○			○	



分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			3DCAD ⅡB	3次元CADソフトウェアの応用操作を学ぶ。主にサーフェスマデリングの方法、トップダウン設計手法について学習する。	2後	60	4		○		○				○
○			C A T I A ⅡA	企業提携によるCATIA技術者育成カリキュラムに沿ったCATIAの操作について学習し、CATIA技術者認定資格を目標とする。	2前	30	2		○		○				○
○			C A T I A ⅡB	企業提携によるCATIA技術者育成カリキュラムに沿ったCATIAの操作について基礎から学習し、CATIA技術者認定資格を目標とする。	2後	30	2		○		○				○
○			卒業制作A	卒業制作のためのデザインプロセスを学習しパネル制作及びモデル制作を行う。	2前	60	4		○		○				○
○			卒業制作B	卒業制作のためのデザインプロセスを学習しパネル制作及びモデル制作を行う。	2後	60	4		○		○				○
○			プロダクトデザイン概論A	プロダクトデザインの専門知識を深め、プロダクトデザイナーに必要な技術、人間性を身につける。	2前	30	2	○			○				○
○			プロダクトデザイン概論B	プロダクトデザインの専門知識を深め、プロダクトデザイナーに必要な技術、人間性を身につける。	2後	30	2	○			○				○
		○	グラフィックデザイン概論	プロダクトデザイン以外のWEBデザインやDTPデザインやイラストといった、グラフィックデザインの基礎を学ぶ。	2前	30	2		○		○				○
○			表現技法A	自分の発想、考え方を、形に表現できる力を身につけ、ポートフォリオの素材となるような作品を作成する。	2前	30	2		○		○				○
○			表現技法B	ものの正しい見方を学び、手書きを中心とした表現で自分のアイデアを、早く正確に表現できる力を身につける。	2後	30	2		○		○				○
○			Photoshop/ Illustrator Ⅱ	アプリケーションの操作方法を身につけ、自分のアイデアを、より早く、正確に表現できる力を身につける。	2前	30	2		○		○				○
○			機械工学A	ものづくりの基礎となる機械工学（材料力学・機械力学）の基礎を学習する。	2前	30	2	○			○				○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			機械工学B	ものづくりの基礎となる機械工学（流体力学・熱力学）の基礎を学習する。	2後	30	2	○			○		○		
○			3次元CAD制作	デザイン・納期を意識した3Dモデル作成の為にテクニック習得。	2前	30	2		○		○		○		
○			CAM	CAMの基本操作を習得し3DCADで作成したデータを用いて作品制作を行う。	2前	30	2		○		○		○		
合計					48科目	1815時間（121単位）									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
①最終学年の終了時において、履修すべき全授業科目（実習を含む）に合格し、当該学年における単位数を取得していること。 ②出席率が当該学年の出席時間数の90%以上であること。 ③国土交通省が定めた規定の時間を満たした者 ④学生としてふさわしい生活態度であること。 上記基準を満たせない者は、他の成績科目、出席状況などを参考に卒業判定会議により判定する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週